

今後の対応方向

資料3

- 今後ともニホンウナギの持続的利用を確保していくためには、国内外での資源管理対策の推進が必要。
- このため、東アジア地域による国際的な資源管理の枠組み構築に向けて取り組みつつ、国内のシラスウナギ採捕、親ウナギ漁業及びウナギ養殖業に係る資源管理を三位一体として進めることが重要。

国際的な資源管理

ニホンウナギを利用する主要国・地域である日本、中国、台湾により協議を実施

第3回日中台協議における合意内容(平成25年5月)

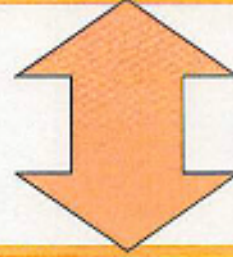
ニホンウナギの国際的資源管理に向けた議論を進めるために協議し、以下について意見の一致。

- ① ニホンウナギ等の資源管理に向け3者の協力を強化
- ② ニホンウナギ等の漁獲・養殖及び貿易の情報収集の改善
- ③ ニホンウナギ等の貿易制度に関する意見交換の継続等

※ 次回協議は平成25年9月を予定。



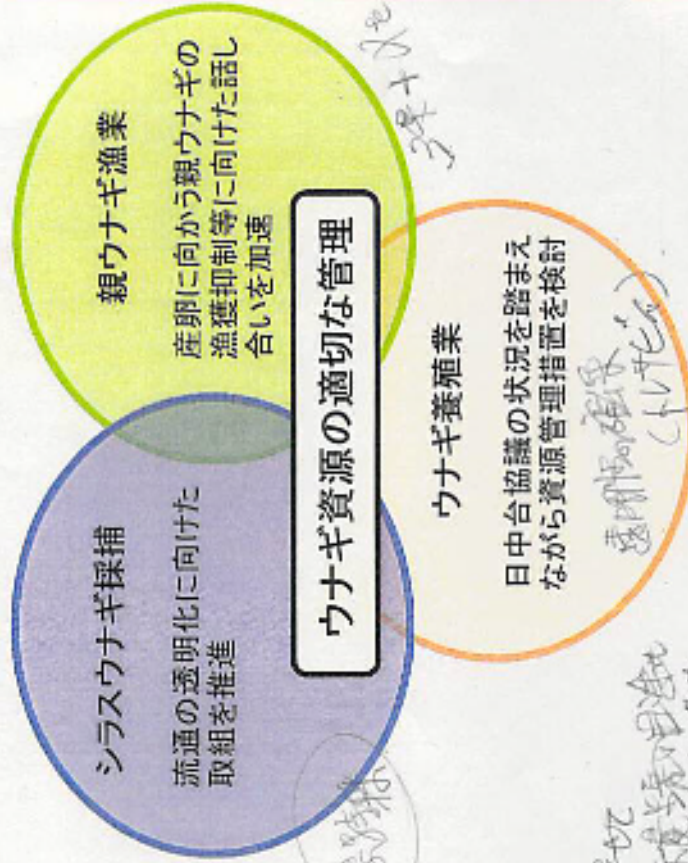
資源管理の枠組み構築を目指す



両輪で対策を推進

国内の資源管理

資源管理を三位一体で推進



※ 将来的には国際的な資源管理の枠組みに整合した資源管理を実施